

## ～平成26年度 幼保小連携推進モデル開発プロジェクト～

### 目的

真室川町では、昨年度に山形県よりアドバイザーの派遣を受け、真室川小学校区の、たんぼぼこども園と真室川小学校において、幼保小の交流事業を実施しました。その際、保育と教育の共通点や相違点、子どもの「あそび」と「まなび」を見取る視点と、お互いの良さをつなぐための子どもへの関わり方について、共通理解を図りました。

今年度は対象地区を全町に広げ、たんぼぼこども園、各保育所、各小中学校を対象に、幼保から小学校への接続期について、次のテーマを設定して全学区において実践活動を実施し、共通の課題を模索していくことを目的にプロジェクトを展開しています。

### テーマ

「あそび」から「まなび」へ向かう接続期のあり方について

幼保小が連携し、こどもの思いに寄り添った教職員等の「気づき」、「あそび」から「まなび」へ向かう接続期の教職員等のかかわりについて、情報や手立てを共有し、課題の解決と実践に生かす。

課題の洗い出し → 27年度へ → 共有

## そのために……

### 平成26年度のプロジェクト推進手法

- ①「あそび」を通じた体験、交流から「まなび」へ向かう、探求型の授業展開を実施しています。
- ②機関の枠を越えた職員間交流を通して接続期のあり方の一本化と情報・技能の共有化を図っています。(お互いのカリキュラムの理解など)
- ③幼保小連携をきっかけとし、児童の思いに寄り添った「気づき」を大切にしたい指導を展開しています。



お料理づくり(安楽城保育所)

### まとめ

以上のテーマと視点をもって、6/16(月)に真小学区、10/9(木)にあさひ小学区、11/13(木)に北部小学区において授業研究や交流事業を展開、アドバイザーから専門的指導も受け、共通理解に努めてきました。

今後は教育委員会において、来年度に向けた「共通の課題」をまとめ、各保育・教育機関で共有し、来年度の幼保小連携事業がより良くなるよう繋げていく予定です。